東北のそばをめぐる状況について

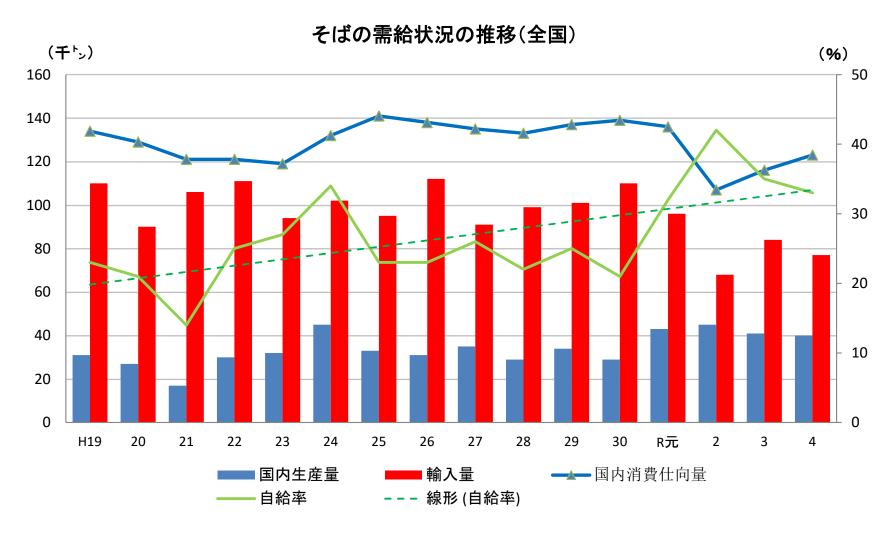


令和7年3月 東北農政局 生産部園芸特産課

1 そばの需給状況

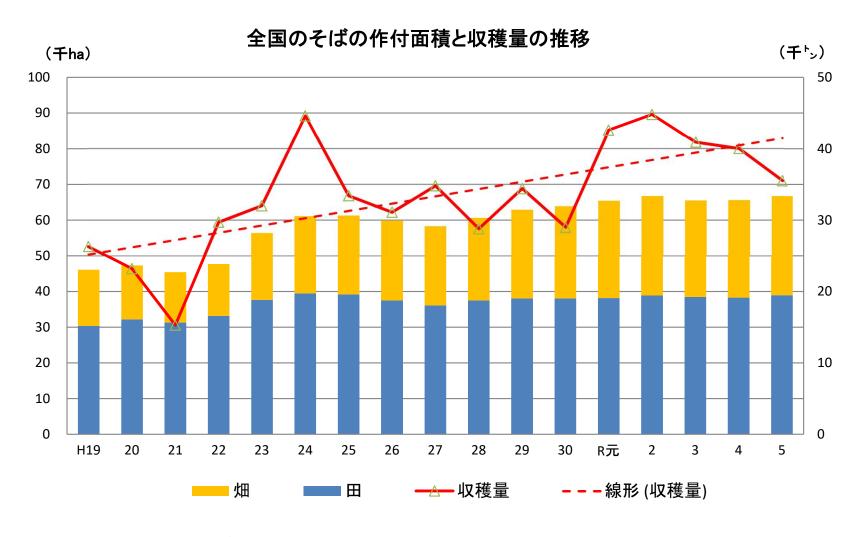
- そばの国内消費仕向量*は年間12~14万トンほどで、このうち国産そばは4万トン程度供給されている。
- 自給率は上昇傾向にあり、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により国内消費量が減少し、 輸入量が減少したことから自給率が大幅に伸びた。

*国内消費仕向量=1年間に国内で消費に回された食料の量(国内生産量+輸入量-輸出量±在庫の増減量)



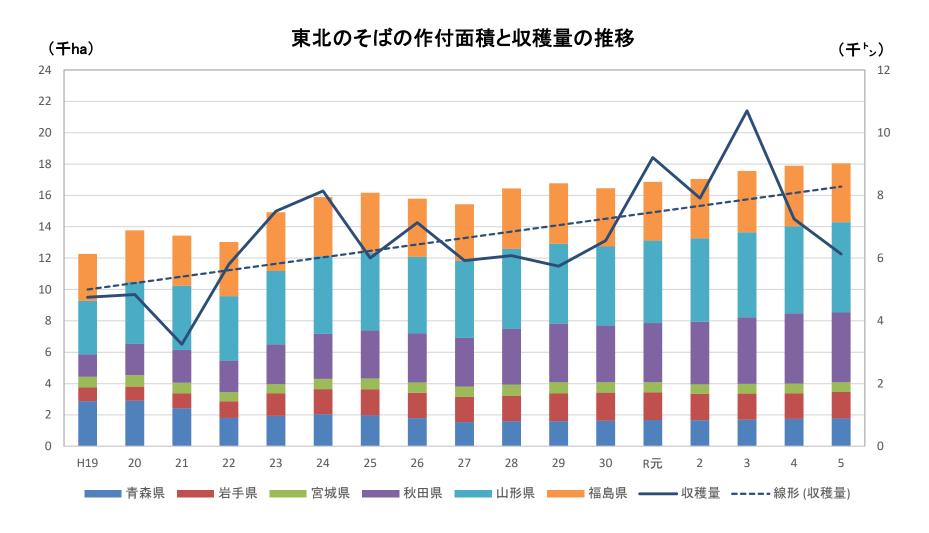
2 全国のそばの生産状況

- そばの作付面積は増加傾向にあり、令和5年産では15年前と比べ約4割増えて66,700haとなっている。そのうち約6割が水田、約4割が畑地で作付けされている。
- 〇 収穫量は増加傾向にあるが、令和5年産では北海道と東北の一部で夏場の高温等の影響により 収穫量が減少している。



3 東北のそばの生産状況 ① 一作付面積と収穫量一

- 東北におけるそばの作付面積は増加傾向にあり、令和5年産では15年前と比べ約3割増えて 18,100haとなっている。
- 収穫量は増加傾向にあるが、令和4、5年産では夏場の高温等の影響により収穫量が減少した。



※ H19年~21年の収穫量は主産県の合計値

資料:農林水産省統計部「作物統計」

3 東北のそばの生産状況 ② 一令和5年産の作付面積など一

- 東北のそば栽培は、作付面積が北海道に次ぐ全国有数の産地となっているものの、水田作が中心であることなどにより、他地域と比べて収穫量・単収が低い状況となっている。
- 令和5年産における東北の作付面積は全国の27%を占めているが、収穫量は17%のシェア率となっている。

令和5年産作付面積、収穫量及び単収

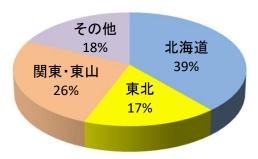
	作付面積		収穫量	単収
	(ha)	うち田作	(^ト ン)	(kg/10a)
全 国	66,700	39,000	35,500	53
北海道	24,900	9,350	13,700	55
東北	18,100	13,600	6,130	34
青森県	1,780	1,280	623	35
岩手県	1,680	1,240	773	46
宮城県	632	569	158	25
秋田県	4,440	3,860	977	22
山形県	5,760	4,890	2,250	39
福島県	3,760	1,790	1,350	36
茨城県	3,590	1,250	3,050	85
栃木県	3,450	2,380	2,240	65
福井県	3,510	3,400	1,930	55
長野県	4,360	2,870	2,960	68

※ラウンドの関係で計が一致しない場合がある。

令和5年産作付面積割合



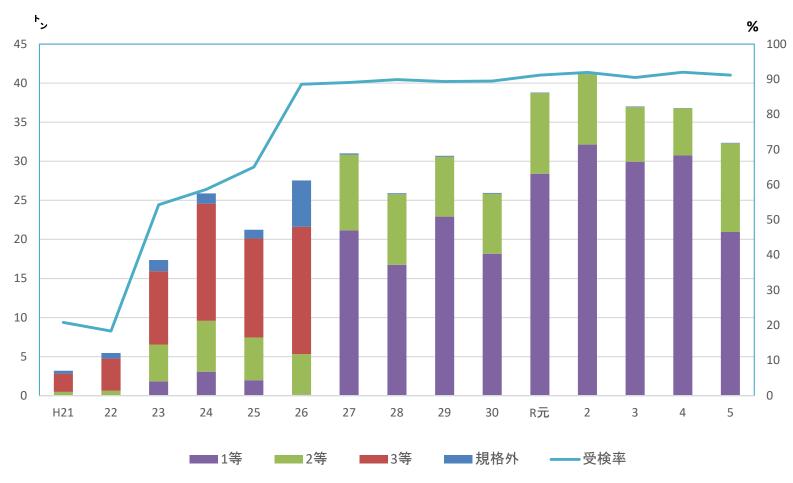
令和5年産収穫量割合



4 そばの農産物検査の状況 一検査結果一

- 〇 経営所得安定対策において、農産物検査の等級格付けに応じた交付金の品質加算が設定された ため、平成23年産以降に受検率が向上し、令和元年以降は90%以上の受検率となっている。
 - ※ 平成27年に流通の実態を踏まえ検査規格が見直され、等級区分が「3等級」から「2等級」に簡素化された。 (形質重視から容積量重視となった。)

そばの農産物検査結果の推移(全国)



資料:農林水産省「農産物検査の結果」

5 東北各県のそばの主産地(令和5年産)

単位:ha

	県作付面積	作付面積上位市町村				
	宋11711111111111111111111111111111111111	1位	2位	3位		
青森県	1,780	青森市 285	蓬田村 262	十和田市 248		
岩手県	1,680	紫波町 361	八幡平市 302	西和賀町 265		
宮城県	632	大和町 153	大崎市 120	東松島市 8 1		
秋田県	4,440	鹿角市 690	横手市 635	由利本荘市 488		
山形県	5,760	尾花沢市 681	鶴岡市 586	新庄市 418		
福島県	3,760	喜多方市 839	会津若松市 354	南会津町 334		

資料:農林水産省統計部「作物統計」

